

野党結集で安倍内閣退陣を

11月11日、関内ホールで「戦争をする国にさせてたまるか9条かながわ大集会 in 横浜」が800名の参加者により開催されました。



制服向上委員会の皆さん

緞帳があがるといきなり制服向上委員会の歌が始まりました。ベートーヴェンの喜びの歌の替え歌で憲法をテーマにした「第九」や「諸悪の根源自民党」との歌詞のある「Ohズサンナ」などを歌いつつ、若者の主張を堂々と述べ、大きな拍手を受けました。

山崎洋子さんの挨拶

続いて、作家で九条かながわの会呼びかけ人の山崎洋子さんが、「戦争直後に米兵に身を売るよりなかった日本人女性とその子どもたちの調査をして『天使はブルースを歌う』というノンフィクションを書いたが、その際二度も行政の取材拒否にあった。再び戦争への道を歩まないために、戦争の実態を語り継がねばならないと思う。憲法9条は夢にすぎないとも言われるが、原爆が落とされた国だからこそ、特別な夢である憲法9条を持ち続けるべきです」と開会の挨拶をしました。

山口二郎さんの講演

憲法劇の歌に続いて、法政大学教授の山口二郎さんが「2015安倍から民主主義の再生へ」について講演しました。山口さんは「戦後70年の日本の政治は憲法第一章天皇と第二章戦争の放棄により、60年安保では新安保条約は成立したが、岸の退陣と改憲の断念により憲法は日本の平和主義として定着した。しかし、野党に転落した自民党はナショナリズム団体の支持により右傾化し、歴史修正主義が浸潤

した。現在の自民党は、モデルチェンジした車の運転席に安倍が座り右にハンドルを切っている状態だ。21世紀型全体主義となり、実証性や客観性を無視し、自分が欲するよう世界を理解する反知性主義が跳躍跋扈している。それは、1939年代のドイツに似た状況で、まさにファシズムの入口に立っている。大学政策でも学問の自由を否定し、市場の要望に従わせようとしている。しかし、憲法を守る運動が大きく広がり、学生たちが自主的に立ち上がり、自分の意見を堂々と述べている。彼らは、中学生・高校生時代に3・11を体験し、被災者への思いやりと、大人たちの無責任さ、政治家や官僚のいい加減さに怒りを感じてきた世代である。国会前の集会では、そのような若者や市民の姿を見て国会議員が変化した。市民が政治家を鍛える新しい政治文化が始まった。今後は、野党協力以外に安倍政治を止める道はなく、野党の背中を押すのは市民のエネルギーだ」と訴えました。

各地九条の会の発言

その後、大勢の各地九条の会の方々それぞれの幟や横幕などを持って壇上にあがり、その前で5名の方々が一列に並んでスピーチしました。根岸線沿線九条の会連絡会の秋吉隆雄牧師は、聖書の言葉を引用して戦争をやめて平和が大切だということ、沖縄の人びとに学んで民主主義と平和を取り戻し、戦争法反対の闘いを進めようと訴えました。



開会の挨拶 山崎洋子さん

戦争をする国にさせてたまるか 9条かながわ大集会に800名参加

告しました。

厚木市九条の会ネットワークの堤昭雄さんは、10の会が

九条かながわ

発行 九条かながわの会
2015年11月20日 No.8
〒231-0012
横浜市中区相生町1-15 第二東商ビル4F B号
☎・fax 045-212-9397
E-mail: article9@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/article9/>

山口二郎さん
(法政大学教授)



会館で9条かながわ大集会在湘南を開催しますので、是非とも多くの皆さんにご参加いただきたいと訴えました。

岡田事務局代表の訴え

最後に、九条かながわの会事務局代表の岡田尚弁護士が、参議院特別委員会での戦争法「採決」の実態が規則に違反している指摘。これを廃止するには議会で反対派が多数をしめなければならぬ。野党の協力が必要だ。

この間、新しい運動が広く

協力して、これまで「日本の青空」の上映会や9の日宣伝行動をしてきたが、来年1月31日に1400名の入る会場で戦争法反対の大集会を準備していることを報告しました。横浜弁護士会の石黒康仁弁護士は、弁護士会は法律の専門家として憲法の基本原理である平和主義、立憲主義を守る活動を会をあげて進めてきた。今後も九条の会と連携して憲法違反の戦争法反対のさまざまな活動を進めたい、来年、柳澤協二さんの講演会を開催すると話しました。

最後に、9条湘南集会実行委員長の井上紀子さんと副実行委員長の石川旺さんが、来年6月4日に茅ヶ崎市民文化



各地九条の会の皆さん

深く進んだ。九条かながわの会の出発点となった2005年2月の「九条の会を聞く県



『9条かながわ大集会2016 in 湘南』
井上紀子実行委員長

民のつどい」での神奈川アピールを紹介し、あれから10年間活動してきた。

しかし、「今が憲法9条の最大の危機です。やれることがやらなくてはならないことがたくさんありますが、楽しいことです。創意工夫して取り組もうと」呼びかけました。その後、憲法劇の指揮により参加者全員で「青い空は」を合唱し、盛会のうちに幕となりました。

参加された方々の感想です

- 戦後の政党政治の変遷を駆け足で分りやすく話してくれた。新しい安保法制で市民の多くが目覚め、声をあげ、若者たちも動きだした。社会運動が生まれたことで2015年は新しい政治文化の発生との見方に共感する。へたれた政治を市民が鍛え直す時と言う言葉に励まされる。
 - 政権交代した民主党の挫折、失望させたこと、山口さんの反省は正直でよかった。言葉の意味を奪うファシズムを実感している。若者たちの力を受けて70年にして真の市民革命を持続したい気持ちを感じました。
 - 誠実、難しい内容を分りやすく、行動する学者としての感覚を持って聞かせた。納得、力になる。
 - 安保法制が成立することにより、日本の自由と民主主義が危機的であることを分りやすく解説してくれた。全体主義が日本を被おうとしている状況に愕然とした。自由と民主主義を守るために本気で頑張らねばならないと思う。
 - レジメも作っていただき、大変分りやすく、今後の勉強の参考になるものが数多くありました。
 - オーウェルや和辻の話が聞いて、新しい視点を得られました。最後の話「野党協力を確立することが今の課題」は、その通りと思います。
 - 今の日本はナチスドイツの始まりに似ている。阻止しなければ本当に恐ろしいことになると思う。
 - 分析の仕方が分りやすく良かった。シベリアに抑留された石原吉郎さんについて始めて知りました。民主党に対して期待のほどが分かりました。野党共闘、選挙で手を結びあって自公政権を追いつめてゆきたい。
 - 戦争法廃止の闘いの広がりには確信を持って、これから行動できる力をもらえました。
 - 制服向上委員会は、若いのにしっかりしている。こういう若者がいる限り、日本は沈没しないだろう。
 - 憲法劇、再開したとのこと、頑張ってほしい。
 - 岡田先生の話、感動的でした。知恵と忍耐、そして希望！ 山崎洋子さんのお話も良かった。
 - 牧師の秋吉さんの訴えが強く響いた。イデオロギーでなくアイデンティティー。力をもらえました。
 - 横須賀の方のスピーチが心に響いた。横須賀オールズ、すごい！
 - こういう場だからこそ、各地で頑張っている仲間を知ることは、横のつながりを強くするために必要です。元気もらえます。
 - 弁護士さんたちの活動も心強くありがとうございます。人権のために努力してほしい。
- などなど、163もの方々がアンケートを書いてくださいました。ありがとうございました。



行動提起する
岡田尚 事務局代表